

# 紫波 木町

## ◆特集 紫波中央駅に待合施設完成

～木のめくもりと安らぎの空間が町に～



元気人・登場！

嶺貞子さんから  
ホッとする紫波町へ

心を

休

める

12月号  
NO.589

平成七年からお招きいただいています。うかがうたびにホッとする町ですね。機械文明が当たり前の中で、素朴な心が残っている場所だと思っんです。わたしが生まれたのは千曲川が町の真ん中を流れる長野県飯山市なんですが、帰郷すると同級生たちが集まって本当に楽しいひとときを過ごすのが恒例になっています。紫波に來ると自分の故郷を思わせる風景が随所に見られてとても心が安らぎます。しかも野菜も果物もとてもおいしいですよ。こうしたすばらしい環境の中で、秋の野村記念講座では初めてオペラに挑戦しました。通常オペラというと巨大なセットに多額の費用をかける場合が多いんですが、今回は手作りオペラ。北国出身の音楽家の皆さんと記念館のスタッフの協力のおかげで皆さんに楽しんでいただけたようです。野村胡堂先生の探偵小説のファンだったわたしが野村学芸財団奨学生の第一期生となり、こうしていま町へうかがって皆さんに喜んでいただいていることを思うと、お世話になった方々に恩返しのできた気分です。

(十月二十一日 野村胡堂・あらえびす記念館で)

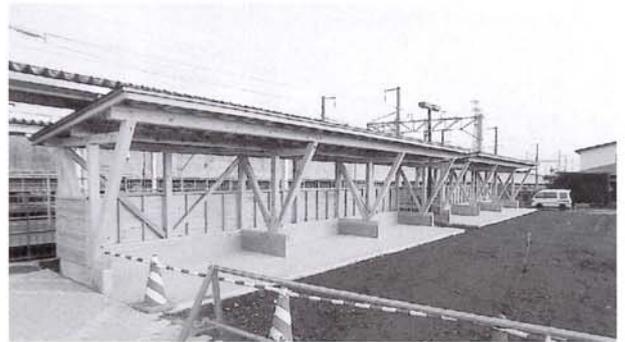
◆みね・さだこ 声楽家。東京芸術大学教授、野村学芸財団評議委員。野村記念講座には初回から参加していただき、すばらしい声に魅せられたファンが町内外から駆けつける。

# 木のぬくもりと安らぎの空間が町に 紫波中央駅に 待合施設完成

七月から工事をすすめてきた紫波中央駅待合施設が完成しました。町産材を活用し、地元の職人さんの手によって建てられた建物は、中に入るとまず体を包みこむような木の香りに驚かされます。中央の塔から差し込む光、待合室の木のいすの感触、窓越しに見える山並みなど、すべてに木のぬくもりと安らぎが感じられます。今月は完成したばかりの紫波中央駅待合施設のあらしをお伝えします。



正面入り口上部のガラスのデザインは、町勢の基盤である水田や産業の伸展を象徴する町章をイメージしています



待合施設に合わせ新たに作られた自転車置き場2棟。外構工事も完了し、まもなく使用できるようになります

## 利用者から

侘美

淳さん（日語）

紫波中央駅は通勤のため毎日、利用しています。すばらしい待合施設が完成し、駅としての風格も感じられますね。駅に降り立つと、家に、日語に帰って来たという気持ちがいよいよ強くなります。

普段は通勤のため、駅を通り抜けるだけですが、展示スペースもあるようなので、たとえば町内小中学校の作品を展示するのも良いと思います。待合施設というだけでなく、付加価値も見い出せませし、利用価値もありますね。駅を利用する人だけでなく、ここがコミュニティの場となれば、すばらしいと思います。

また管理人さんが常駐するようになり、ホームから駅周辺までとてもきれいになりましたね。ポランティアで清掃活動も行われているようですし、気持ちよく利用することができ、ありがたいと感じています。



## 町の環境を未来に伝えるため

完成した待合施設は、町産材を活用して建設された公共施設としては今年三月に完成した古館こどもの家に続き二件目の建物になります。

循環型のまちづくりを目指す町では有機資源の循環だけでなく、森林資源の循環に向けた取り組みも行っています。これは町内の森林から切り出された木材を、町の職人さんの手で建設し、また同時に森林資源が循環するように木を植え、育てることで、大気保全や水源かん養、土砂流出などのさまざまな森林の機能を生かしていこうというものです。こうすることで町の環境を未来に伝えていくことができると考えています。

## 展示ギャラリーとしても活用

デザインを担当したのは佐川建築研究所の佐川旭さん。佐川さんには施設の建設に向け、利用する町の人の声を聴こうと昨年行った「えきビルドワークショップ」にも参加していただきました。建設工事は町の業者、職人の手で行われたものです。

こうして完成した紫波中央駅待合施設は木造平屋建て、延べ床面積二七九・八九平方メートルで、待合室や展示ギャラリー、管理人室、トイレ、自転車置き場二棟、ホーム通路からなっています。建設費は八、一八二万円地域

林業経営確立林業構造改善事業を活用し、間伐材等利用推進モデル施設として建設されました。十一月十二日には関係者など約七十人が出席し、落成式が行われました。

紫波中央駅待合施設は正面からホームまでは二十四時間通行できます。待合室や展示ギャラリーの利用時間は午前七時から午後八時までで、その間は管理人が常駐しています。

連絡先 紫波中央駅待合施設（紫波中央駅前二丁目2-2） ☎671-2270  
 担当 農林課 ☎672-2111 内線337 有線018822



紫波中央駅待合施設は町産材を利用し、町の職人の技術が存分に発揮されたというだけでなく、いたるところに町の自然や暮らし、歴史が表現され、ぬくもりや安らぎが感じられる、とても居心地の良い場所になりました。それではそれぞれの部分をご案内しましょう。



## 待合施設のテーマは「紫波町」 どこにいても町が感じられるぬくもりある設計

### 町の歴史や自然をイメージした数々

紫波中央駅待合施設は駅前広場から見ると、中央の八角形の塔をはさんで左右に翼を広げたような形になっています。町は昭和三十年に一町八カ村が合併し、現在の紫波町になりましたが、この中央

の塔は一つの町を中心に八つの村が力を合わせ歩んできた、町のなりたちが表現されています。また大きく両手を広げたような形の屋根は町民と行政の翼を表したものです。このように全体の形から町の歴史や未来に思いをはせることができます。

塔周辺に用いた部材や枠は紫波町の位置、東経一四〇度五七分、北緯三九度二八分という数字にちなみ、一四〇、五七、三九、二八

に関連した寸法で仕上げられています。塔の内部、天井のデザインは一町八カ村の記憶の層を表現し、中央の金色は金山や秋の実りを表しています。

町章をイメージした紫波中央駅と書かれた正面から入ると、向かって右が待合室、左には展示室や管理入室、トイレがあります。ホームまでの通路はタイル張りで、タイルやビー玉で北上川の流れを表現しています。通路両側の十二本の柱は紫波の森を表し、腰壁や上部塗壁は町に見られるなまこ壁やひし茸をモチーフにしています。利用する人はこの森を通り、塔からの光や風を感じながら通勤、通学することになります。

### 重厚感あふれる見事な仕上がり

待合室に入り、まず目につくのが梁。樹齢百二十年のアカマツがあらわしで使用されています。また腰板、床、ベンチなどいたるところに木が使用され、木の持ち味が十分に活かされた仕上がりになっています。中央と東西の壁ぎわ

に配置されたベンチには約四十人が座ることができますし、通路部分も広くゆったりと利用できま

す。窓越しには遠く山並みが見え、利用される人は木の香りに包まれて、季節ごとの町の風景を楽しむことができます。

中央通路左側には物産ギャラリーと管理入室、トイレがあります。物産ギャラリーは町の観光や物産を紹介するため、現在準備中です。また広いスペースを利用し、さまざまな活用が検討されています。



1



2



3

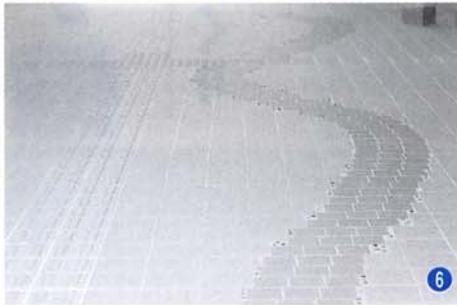
### バリアフリー対応の設計

①②中央広場周辺道路から待合施設に向かい緩やかな傾斜を登っていくと、手前のホームまでドアや段差がなく、バリアフリーになっています

③北側奥には身障者用、男性用、女性用それぞれのトイレがあります。壁に木材を用い、明るさと暖かみを感じられます



### 町の木材で、町をイメージした待合施設



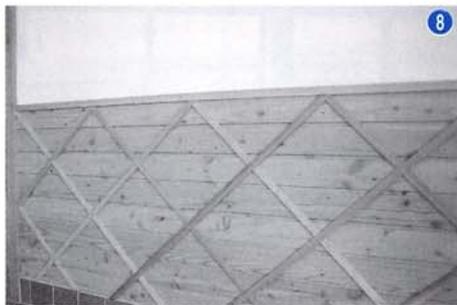
6



7



4



8



5

④八角形の塔は町のなりたちと、秋の実りなどの自然をイメージしています。日中は自然光が降り注ぎます

⑤展示ギャラリーと管理人室。町の観光や物産の紹介スペースとなる予定です

⑥中央通路のタイルとビー玉は北上川の流れを表現。微妙な曲線の表現に職人さんの腕がさえます

⑦中央通路両側の12本の柱は町の森を表現。中央通路は森や光、風など豊かな自然が感じられます

⑧なまこ壁をイメージした通路両側の腰板。今でも町には平らなかわらを張り、継ぎ目をしっくい塗りあげたなまこ壁の土蔵が多く見られます

# 町の森林財産は347億円

守り、育て、活用して豊かなまちづくり

## 森林の公益的機能評価額 から見る町の貴重な財産

森林は私たちにさまざまな恵み、公益的な機能をもたらしてくれます。例えば森林の土壌が雨水などを蓄えることで、洪水を防いだり、水質を浄化する水源かん養機能、森林の小草やおちばなどが地表の浸食を防ぐ土砂流出防止機能、木々が根を張り巡らすことでの土砂崩壊防止機能。ほかにも二酸化炭素を吸収し、酸素を供給する大気保全機能、人にやすらぎを与える保健休養機能、野生鳥獣の生息の場としての野生鳥獣保護機能など、その恵みは計りしれません。

これらさまざまな機能をお金に換算したら、いったいいくらになるのかを試算したのが公益的機能評価額です。県の森林の公益的機能を代替法によって計算すると、紫波町の森林は年間三四七億円もの公益的機能を発揮していることとなります。

こうした計算法一つとってみても、森や木が与えてくれる恩恵は重要なものがあります。これからもみんなで森林資源循環へ取り組みましょう。

## 紫波町の森林がもたらす公益的機能の試算

### 岩手県の森林資源

- ・ 県全体の森林面積  
1,175,000ha
  - ・ 県全体の森林の公益的機能の評価（年間）  
2兆9400万円
- （第7次岩手県林業基本計画から。平成12年の評価額）

### 紫波町の森林資源

- ・ 町全体の森林面積  
13,858ha
- ・ 町全体の森林公益的機能の評価（年間）  
 $13,858\text{ha} \div 1,175,000\text{ha}$ （県森林面積）  
 $\times 2$ 兆9,400億円（県公益的機能評価）  
= **347億円**（年間）

大気浄化機能	2,100億円
水源かん養機能	7,600億円
野生鳥獣保護機能	1,800億円
保健休養機能	1,100億円
土砂流出防止機能	1兆2,900億円
土砂崩壊防止機能	3,900億円

### 町産材の利用状況

町には民有林8,721ha（木材換算で2,771,661m<sup>3</sup>）がありますが、1本の木を植えて、利用できるまでのサイクルを90年と設定した時、1年に約2.55%しか利用されていないと推定されます。

樹齢120年のアカマツを梁に使い、天井が高く広々とした空間の待合室。木に囲まれ、森の恵みを実感できます

町がすすめる森林資源循環は、町の資源である木材を有効活用して、さらに森林を守り、育てることを目的にしています。同時に、木からもたらされる安らぎも環境を考えるうえで重要です。ここでは町の財産である森林資源を見直し、循環型まちづくりの流れを紹介します。

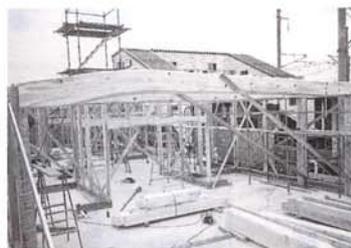
大巻の消防団第九分団第二部屯所、そして上平沢小学校の校舎

# これからも増えます 町産木材を使った公共施設

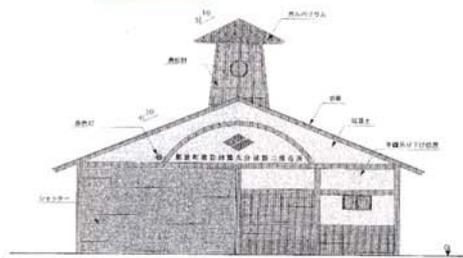
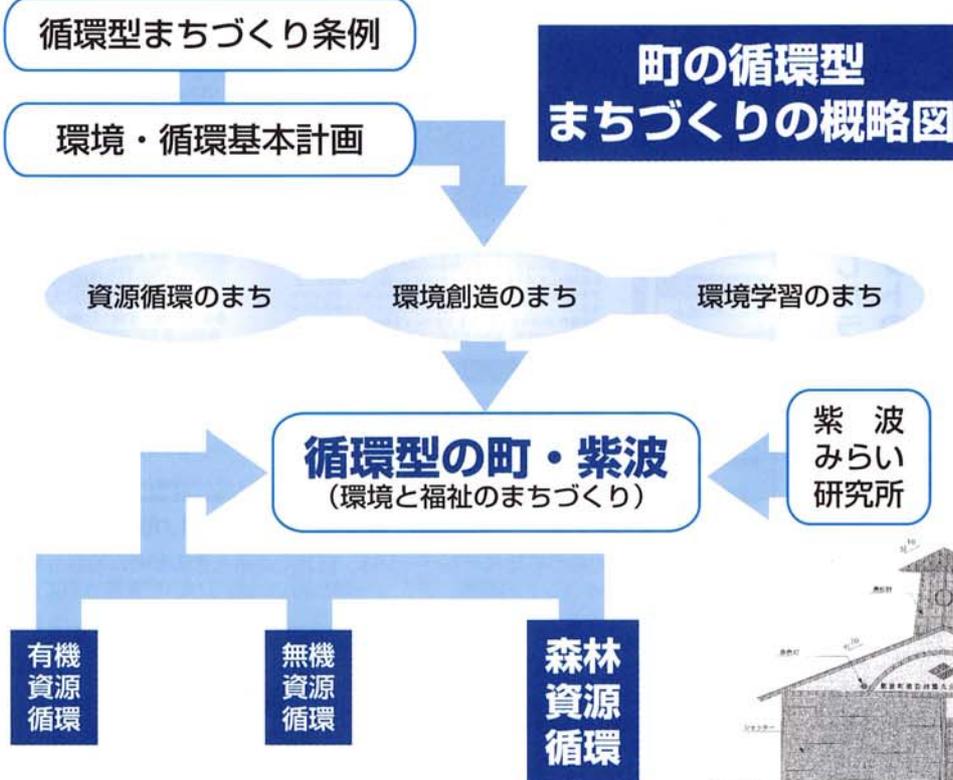
紫波中央駅待合施設の建設で使われた町産材は平成11年の森林組合取扱量全体の約1割にあたる約50m<sup>3</sup>、かかわった町の大工さんの数は延べ約500人にのぼります。

使われた木材は、東は赤沢と長岡地区、西は水分地区の民有林と町有林から切り出したものです。材種はカラマツ、アカマツ、スギなどで、土台から柱、梁など、さまざまに加工され使用されています。

完成した紫波中央駅待合施設は古館こどもの家に続き、2番目の森林資源循環の建物です。今年度は大巻地区に消防団第九分団第二部屯所の建設、来年度は上平沢小学校の校舎の建設も予定されています。



## 町の循環型まちづくりの概略図



町産材を通じて生まれる  
新たなコミュニケーション

森林資源循環では町内の職人さんのほかに多くの皆さんにご協力をいただいています。

紫波中央駅待合施設管理人

石橋幸久さん(中島)

長くJRで仕事をしてきましたが、このような形でまた駅に関わる仕事をさせていただくことになりました。一日平均、約二千の人が利用しているといわれていますが、特に朝晩は大変込み合いますね。十一月までは朝七時から夜八時まで三人、二交代でしたが、十二月からは五人が増え、三交代で行っています。メンバーの中にはシルバー人材センターに登録している人もいます。主な仕事は施設の管理、清掃など。ボランティアで清掃に来てくれる人もいますので助かります。きれいなものはきれいなまま、いつまでも利用していただきたいですからね。私たちも頑張らなければならぬと思っています。

駅は不特定多数の人が利用する所。問合せや見学も多く、お客さまに身近で接する仕事でもあり、対応には少しづつ気を配っています。またできるだけこちらから声をかけるようにしています。最近は若い人たちも応じてくれるようになりました。うれしいですね。皆さんが気持ち良く利用できるよう、誠意をもって接しようと特に心がけています。

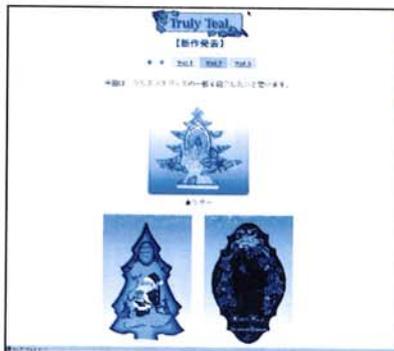
# 手作り大好きな女性たちが ホームページと催しを展開 ビビットライフ

# しわ 探検団

皆さんがつくった  
ホームページ拝見

「手作りを通じて、生き生きとしたライフスタイルを応援します」というコンセプトのもと、さまざまな手作りを楽しんだり、周りの人たちにも楽しさを知ってもらおうと町内のほか盛岡市や矢巾町などの女性たちが結成したサークルがビビットライフ（畠山明美代表）です。ホームページの開設や手作りを通じた仲間づくり、幼児から高齢者まで参加できる教室やイベント開催による地域との交流など、活発な活動を続けるビビットライフを取材しました。

ビビットライフ <http://www.factory4.net/vividlife/>  
すっきりとまとめられたホームページは、自分で作るときの参考にもなりそう。各種お知らせやイベントの報告、メニューがかわいい色づかいで表示されています



ビビットライフメンバーの作品を紹介する「手作りひろば」

教室や講習会のお知らせもいねいに紹介されています

情報に基づき手作り作品を取材、紹介する「ステキLIFE」

**アクセス数五万件を突破**  
ビビットライフのホームページは「手作りを活かしたこんな活動がしたい」という明美さんの一枚の企画書をもとに、地域密着型サイトとして知られる紫波町商工会のホームページ「ヤッホーいわて紫波」を担当しているご主人、眞さんによって作られました。

**手作りで生き生きと元気に**  
ビビットライフ代表の畠山さん（桜町）は栃木県のご出身で、紫波町に来て十六年になります。四人の子どものお母さんで、昨年三月に下の子どもさんが幼稚園に通うのをきっかけに、手作りの好きな主婦、川村陽子さん（桜町）、浅沼典子さん（盛岡市）の三人で結成したのがビビットライフです。  
このサークルの最大の特長はホームページを開設していること。畠山さんは「ホームページは幅広い活動や仲間づくりの一つの補助的な手段。手作りをとおして交流の輪が広がり、女性も町も、生き生きと元気になるお手伝いになれば」と話します。最近では手作りの良さやメンバーの手作り作品の技術の高さが注目を浴び、新聞やテレビにも取り上げられるようになりました。



12月2日、会場設営も終わって記念撮影。明るくバイタリティあふれる女性たちの作品は見応えがありました

## メンバーのプロ並みの作品が一堂に 第2回手作りフェスティバル

12月2日には、盛岡南ショッピングセンター・ナックスホールで手作りフェスティバルが開催されました。これは昨年に引き続き2回目の開催で、メンバー全員の作品のほか、各種活動や交流を通じ、佐比内公民館や牡丹野女性部の作品も出店されました。ホールいっぱいに表示された作品はみなプロ並みのすばらしい作品ばかりで、会場には多くの人々が訪れ、終日にぎわいました。トールペイントやフラワーアレンジ、押し花、水引きなどの体験コーナーも大人気で、来場者は手作りの楽しさを満喫していました。

### ビビットライフへの連絡はこちら

ビビット・ライフでは、各種教室の開催や出張講師も受けています。また手作りの好きな仲間を募集していますので、ぜひお問い合わせください。

Eメールアドレス vividlife@factory4.net

【問合せ】事務局 川村さん ☎090-1497-2231



右端から創立メンバーの畠山明美さん、浅沼典子さん、左端が川村陽子さん

こうして女性のためのコミュニティ・サイトが完成し、アクセス件数もこれまでに五万件にのぼっています。昨年の三月に結成されたビビットライフ、今ではメンバーも十五人に増えました。わずか三ページからスタートしたホームページも今では一〇〇ページにおよび、メンバーの新作発表の場に活用したり、感想や意見をいただき、次の提案や企画を出し合うことも楽しみみのひとつになっているとのことです。

### ネット・活動「結」の交流へ

活動は長期休みの子供イベントや各種教室、講師の派遣、作品展の開催など多彩で、公民館や地域の婦人会、子ども会など地域を巻き込んだ、大きな広がりやの輪ができています。「基本は楽しいこと。自分自身が楽しく、参加者にも楽しんでもらいたい。パソコンがなくても大丈夫でも参加できます。たくさんメンバーに支えられながら相互に刺激しあい、手作りの輪をこれからも広げていきたい」と話す畠山さん。まもなくメールマガジンも発行されるとのこと。またメンバーの活動を強力に支えているのがそれぞれのご主人。家族ぐるみの交流も始まっています。

農業委員会では農業、農村が抱えているさまざまな問題を地域の皆さんと一緒に考え、明るい農村づくりを推進するために移動農業委員会を毎年行っています。今年は11月25日、志和生活会館、赤石公民館、赤沢公民館の3会場で開催しました。

## 町内3会場で 移動農業委員会



- 今年度の移動農業委員会は、依然として厳しい農業情勢に直面している状況から、大きな問題の提言をはじめ、各会場とも活発な懇談が行われました。個別相談を受ける人もあり、熱心な会になりました。どこの会場でも出されたのが減反・生産調整や、米政策の不透明性についての問題でした。そのほかにも次のような問題が出されました。
- 農業後継者が極めて少なく、これからの農業・農村が大丈夫か心配だ。農業を辞めていくところが多くなるのでないか。農業の中心になっている年齢層は六十歳前後の人が約六五パーセントで、三十五歳以下の人はわずかである。これからの農業をどのように考えているのか。
  - 農業は地域・集落などの単位で経営するという考えでないか。何とかしてもならない時代がくるのでないか。何とかして後継者を育てなければならぬ。
  - 耕作放棄の農地を解消しなければならぬが対策を講じているのか。集団化というのが作物指導、とも補償の問題など複雑で分からないが、適地というものもあるのではないか。
  - 農業委員会が音頭をとり、地域農業再生運動をやる必要があるのは分かる。地域農業の将来計画をしっかりとつくり、農地、農業者、農機具など農業条件を整備し、経営という視点に立って地域農業経営に取り組んでいくことを考える時期だ。
  - 農業者年金制度が新たに変わるといいますが、内容を詳しく教えてください。
  - 小作料の改訂内容はどうか。
  - 農業振興地域整備計画や農地転用などの手続き、許可基準
  - 家族協定書の締結なども農業経営への参画ということでは考えてみることも時には必要。
  - 遊休農地の解消策として調査をしたというがどうなっているか。遊休農地を市民農園方式などでの活用例があるか。
- 農業委員会ではこれら出された問題について、広報などで皆さんにお知らせしていきます。また委員会活動に反映させ、これからの地域農業の発展のため、さらに活動を充実させていきたいと考えています。



# 来年1月1日から農業者年金が生まれ変わります

## ア 新制度への移行手続き

現在加入している人で、新しい年金制度に引き続き加入する人は、移行調査書（加入についての確認調査）を提出していただきます。書類は各農協支所にありますので至急手続きをお願いします。

## イ 新制度への加入について

新しい農業者年金は、安定・確実を一つの目標として充実した老後の生活保障のための制度です。紫波町農業者年金協議会では多くの皆さんに加入をおすすめしています。

保険会社の個人年金に似た制度となっていますが、国の関与（保険料を助成）する年金で安心して加入できます。

### ① 加入できる人

農業に従事し、60歳未満の国民年金第1号被保険者であればどなたでも加入できます。

② 保険料は月額20,000円から最高67,000円までで、1,000円単位で増口可能、しかも全額社会保険料控除対象になります。

③ 意欲ある農業の担い手には、国の政策支援として例えば、20歳で加入すると最高月額10,000円を15年間、さらに5年間月額6,000円の支援が受けれることができます。

### ④ 加入手続き

来年の1月以降、農協各支所で加入手続きをお願いします。

現行の農業者年金は、農業者の老後の生活の安定を目的に昭和四十六年に創設されたのですが、年金財政の急激な悪化にもない、抜本的改革が必要になりました。そこで一月一日から現行の賦課方式（世代間扶助）から積立方式に変更されることになりました。町では説明会を開催したり、対象となる人に通知をしています。改正される年金制度は積立方式で、自分でかけた保険料に利息分が加算された金額が年金として受け取ることになります。

現在加入されている人が引き続き加入しますと、今までかけた年金制度の金額に新たに加入して払い込んだ年金の金額とを合算で受けることとなり有利です。手続きは次のとおりです。

## BSE対策について町に要望

九月に国内で初のBSE（牛海綿状脳症）が発見されました。

農業委員会では、発生原因の徹底究明と風評被害防止、畜産農家などの経営安定対策について、全国農業会議所や岩手県農業会議を通じて国、県の機関に次のような要望をしています。また町に対しても農家の意向を踏まえ、十一月三十日、要望書を藤原町長に要望しました。内容は次のとおりです。

- ① 畜産農家に対する経営安定対策事業として、緊急支援策を講じるなど、農家負担の軽減に関すること。
- ② 自給飼料の生産対策を早急に構築すること。
- ③ 町内産牛肉の安全と消費拡大に結びつく方策の継続的展開に関すること。

## 農業委員会制度の経過にふれて

会長 平館良孝

農業委員会制度発足五十周年を記念し、関係機関や団体のご協力をいただき十一月六日、第五回歴代農業委員会大会を岩手中央農業協同組合・パールパレスで開催しました。当日は約百人を超える皆さんの参加をいただき、盛大に開催させていただきましたことを心から御礼申し上げます。

さて戦後の農業情勢の変化により、それまでの「農地委員会」、「農業調整委員会」、「農業改良委員会」が整理統合され、その機能と精神を受け継ぐ形で昭和二十六年三月三十一日、農業委員会法が公布、同日施行されました。町でも昭和二十六年七月二十日、第一回農業委員会の統一選挙が実施され、行政委員会としての「農業委員会」が誕生しました。農民の代表機関として設置された農業委員会も数度にわたる大幅な法律改正や社会のすう勢で、役割が法令業務として明確化され、さらには農地の市民的利用に対する新たな業務も付与されてきました。国際化など今日的な課題が山積みの農業情勢ですが、農業者の代表として共通の誇りを持ち、活発な活動を展開していきたいと考えています。



また歴代農業委員多数の参加をいただき、農業委員会の歴史をふりかえるとともに、役割の重要性を再確認する大会にもなりました。



4月に勤務したばかりの山谷祐子さんは、紫波郵便局では初の女性配達担当。「これから雪道での配達になるんですが、みんなから『大変だよ』とおどかされています」



## 紫波郵便局へ

# お仕事 おじゃま しまーす

町内の事業所やお仕事を紹介する「お仕事  
中おじゃまします」のコーナー、今回は紫波  
郵便局を訪問しました。「あなたの町の郵便局」  
をキャッチフレーズに、袴田雅之局長を筆頭  
に地域に根ざした郵便局を目指して働かれて  
いる郵便局の皆さんの様子をご紹介します。



### 職人技の仕分け作業

朝礼後は、休む間もなく郵便課全員で仕分け作業開始。山のようにあったケースの中もみるみるうちに減っていきます。



### 防犯ポスターコンクール表彰式

袴田局長から賞状と記念品が手渡されました。職場活性化モデル局指定の発表も行われ、最後はさわやかあいさつで。



### 「おはようございます」全体朝礼

火曜は全体朝礼の日、体操、スピーチなどお客さまの立場にたったサービスを確認したり、各課からの連絡が行われます。

### 配達はいねいに

さあ配達開始。山谷さんも真剣な表情で1軒ずつ、いねいにポストに入れます。走行距離は1日100km近くなるとか。



### 荷造りは順路どおりに

作業が完了した人から、順番に出発。90ccバイクの前後に積まれたカバンとボックスに、注意深く詰め込みます。



### 重要な郵便をチェック

書留や速達、小包は郵便課の一角にある鍵付きの部屋で、1通ずつ確認しながら配達員に手渡されます。



午前6時30分、お仕事スタート!

## 岩北連絡会



朝六時三十分から始まる郵便局。紫波郵便局は郵便課、貯金保険課、総務課の三課から組織され、約八十人がそれぞれの仕事をしています。町内の郵便の集配業務を一手に引き受ける郵便課の仕事は朝六時三十分、トラック便の到着とともにスタート。まず郵便番号単位に大区分。全員が出勤する午前八時から地域ごとの小区分へと、すべて手作業で行われます。さらに十六に分けられた町内の区画ごとに、担当配達員が配達順に郵便物を並べていきます。こちらはなんと一日一万二千通から一万三千通の郵便物が皆さんのお宅に配達されます。

また紫波郵便局は郵便のほか貯金、保険の郵政三事業のバランスが良いことや防犯施策が理想的なことが認められ、来年一月まで、盛岡市や二戸市、久慈市など県内北部の郵便局からなる、岩北連絡会の職場活性化モデル局の指定を受けました。朝礼のさわやかなあいさつにも、その意気込みが感じられます。毎年、楽しみにしている年賀状が届くのも、休み返上でがんばってくれる郵便局の皆さんのおかげです。本当にご苦労さまです。

## おじゃま いたしました

【取材メモから】

(写真左上) 岩北連絡会主催の防犯ポスターコンクールで推奨された、貯金保健課外務班の見事なチームワークによる作品  
(写真左下) 国道4号線沿いの紫波郵便局外観。これから年末にかけて、駐車場も混みあいます  
(写真左) 郵便局窓口をカウンター内側から見た様子



**紫波郵便局からのお知らせ**  
元日に配達される年賀郵便の取扱期間は十二月十五日から二十五日まで。ぜひお早めにご準備ください。  
また地域の郵便局を目指す紫波郵便局では会議室や展示ギャラリーを無料開放しています。利用は営利目的以外のものです。会議や教室、催しに利用できます。紫波郵便局総務課までお問合せください。(ただし年賀郵便取り扱いのため、利用の予約は一月以降になります)

☎672-3300

## 午後9時、お仕事終了

この後は速達や小包などの配達もあり、最終的に終わるのは午後9時ごろのことでした。



### 配達順に並べる各配達担当員

1通ずつ宛名を確認しながら、並べていきます。数を集計したら、いよいよ出発。その手早さには驚かされます。



### 消印などの確認作業も確実に

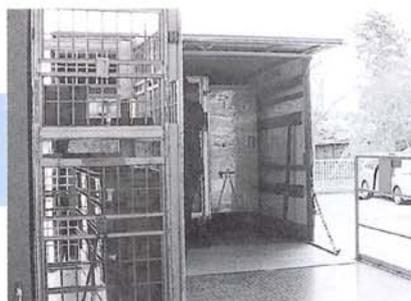
消印は定型郵便物の場合機械で、定形外郵便は1通ずつの手作業。住所の間違いなども訂正し、確実に届けられます。

### トラック便が到着—作業は続きます

小包などの荷物を積んだトラック便が到着。こちらからは町特産のフルーツを。手際よく荷物の入れ替えが行われます。

### 貯金保険課はお客さまを訪問

貯金保険課の山田浩幸さんは、赤ちゃんが生まれたご家庭を訪問し保険を紹介。お客さまの立場にたった説明でした。





**そば打ち、陶芸など町の魅力満喫  
仙台から一泊二日の体験型ツアー**

特産品など町の魅力を満喫する紫波体験ツアーが十一月二十二日と二十三日の二日間行われ、仙台市周辺の主婦など二十八人が参加しました。これは仙台市で情報誌を発行する仙台リビング社が募集したもので、春の山

菜づくし、秋のブドウ狩りや産直巡りなどを楽しむ日帰りツアーに続き、初めての宿泊ツアーになりました。今回はそば打ち体験を皮切りに、陶芸体験、地酒蔵元の見学、リンゴ狩りなど、紫波のさまざまな魅力を体験できる内容になりました。また産直巡りで新鮮な果物や野菜を買い求めたり、野村胡堂・あらえびす記念館では蓄音機のやわらかな音色に耳を傾けリラックスしたりなど、通常の旅行ではなかなか体験できない内容に、参加者は一泊二日ならではのツアーを楽しみました。



**臨場感たっぷりのおペラ上演  
記念講座でプロの歌を間近に**

十四回目となる野村記念講座が十月三十一日、野村胡堂・あらえびす記念館で開催されました。第一部の柳澤隆雄さんの「野村胡堂と証券投資」と題する講演に続き、第二部ではコンサートが行われました。コンサートで

は、記念館のホールを使い初めてオペラが上演されました。嶺貞子さんの構成によるオペラハイライトは、日本語歌詞での歌もあり、出演者と観客が一体となり、気軽にオペラを楽しめるように工夫されていました。

**ストレッチで事故予防を  
出稼ぎを前に百人参加**

出稼ぎ者安全就労推進集会が十月二十二日、J Aいわて中央本所パーフパレスで開催され、約百人が参加しました。これは冬期間、出稼ぎする人を対象に、保険や年金の手続き方法の説明、健

康で安全に働くための健康相談が行われました。また町体育協会の高橋一男トレーナーからの腰痛や肩こり解消、事故予防のためのストレッチの指導が行われ、参加者は一緒に体を動かしながら熱

**ライオンズクラブが交通安全願い  
反射たすき百五十本を寄贈**

紫波ライオンズクラブ(山下俊明会長)は十一月二十日、高齢者の交通事故防止に役立ててほしいと反射たすき百五十本を

町に寄贈しました。町では毎月、ききょう荘で行っている交通安全教室の際に活用することになっています。



心に話を聞いていました。今年も首都圏などを中心に三百四十一人が働きに出かける予定です。



## 見事な作品や発表の数々 第三十五回紫波町芸術祭



芸術の秋を代表する恒例の紫波町芸術祭は十一月二日から三日間、中央公民館を会場に開催され、



## 新しい車でさつそうと出勤 交通指導隊に新車両が配属

交通安全の呼びかけや指導など積極的な活動を続けている交通指導隊（深澤剛隊長）に新しい交通指導車が十一月七日、交付されました。役場前広場で行われた交付式には関係者など約三十人が集まりました。新しい交通指導車は一八〇〇ccのバンで、今後の広報活動が期待されます。



盆栽や書道、洋画、陶芸など約九百五十点の見事な作品が所狭しと並べられ、多くの人が鑑賞に訪れました。このほか舞台

部門の発表や小中学生作品展、吹奏楽や合唱、合奏部門の発表など十一月は芸術の秋にふさわしい催しが多数行われました。

## 百五十人の親子が運動あそび 「パパママランド」が大盛況

保育所合同の運動あそびが十一月十七日、総合体育館で行われました。これは子育て支援センターで行っている「パパママランド」の催しとして行われたもので、当日は約六十組、百五十人ほどの親子が集まりました。社会体育実技指導員の佐藤淳子さんが身近なものを利用した遊びなどを紹

介し、親子のにぎやかな声が会場いっぱいに響いていました。



## 真剣な表情は本番さながら 秋の火災防衛訓練を実施

秋の火災防衛訓練が十一月十七日、赤沢小学校周辺で行われ、約三百人

が参加しました。当日は林野火災が発生したという想定で訓練が行われ、一斉放水や防災ヘリによる消火作業も行われ、本番さながらの訓練が展開されました。また赤沢小学校の児童や地区住民による初期消火訓練も行われました。



## 積極的な活動認められ受賞 紫波町老人クラブ連合会

紫波町老人クラブ連合会（中野頼二会長）ではこのほど全国老人クラブ連合会から優良老人クラブ連合会表彰を受賞し、十一月二十六日報告のため藤原町長を訪問しました。これは昭和四十一年の結成以来、高齢者の生きがいづくりや健康づくりの積極的な活動が認められたものです。紫波町

老人クラブ連合会は八十九クラブ、三千九百三十七人が活動をしています。



## 新たなふれあいの場がオープン 日詰商店街になんバザ・ホール

日詰商店街にお休みどころとして十一月十七日にオープンした街の駅「なんバザ・ホール」がにぎわいを見せています。なんバザ・ホールには、いすとテーブルが置かれ、利用者がお茶を飲みながら休むことができます。すこやか号も停車します。また食料品、衣料品、日用雑貨、化粧品など日詰商店街の品物が並べられるほか、生活改善グループ、アグリレディース協会のコーナーもあり、

新鮮な野菜や花、手作りの加工品などが所狭しと並べられています。開設日は二月二十一日までの毎週水曜日と木曜日、午前九時から午後三時までです。





# 情報



## 水道管の凍結にご注意を

問合せ 水道事業所施設係 ☎672-2111  
内線424、425 有線01-8951

電動タイプ



屋内タイプ



水抜栓の構造例

水道は、気温が氷点下4度以下になると凍結するおそれがあります。最悪の場合は、水道管が破裂することもある。凍結・破損防止のため、「水抜き」をするよう心がけましょう。

**水抜栓(不凍栓)は大丈夫?**  
水抜栓は、長く使われないと、栓が効かなくなっていることがあります。次のテストをしてみましょう。  
1 蛇口を大きく開ける  
2 水抜栓(不凍栓)を完全に閉める  
3 蛇口に手のひらをあててみて、吸い込まれることを確認する

※水抜栓が半開きのままですると水が地下に流れ水道メーターにカウントされ、水道料金金の対象となりますのでご注意ください。水抜栓の開閉は最後まで完全に行うことがポイントです。

**もし水道管が凍ったら**  
(家庭でできること)  
凍結した場合は次のように対処してください。  
蛇口付近などが凍っていると思われるときは、タオルをかぶせてその上から「ぬるま湯」をかけます。熱湯を直接かけると管が破裂する恐れがあります。(非常時はヘアードライヤーの利用も可)  
《注意》ガスバーナーやトーチランプなどは、絶対に使用しないでください。炎や加熱した水道管から火災が発生する恐れがあり、非常に危険です。  
このような方法でも水が出ないとき、また水道管が破裂した場合は、紫波町指定給水装置工事業者に依頼することになり、有料となります。

(有) 伸栄設備	盛岡市厨川	645-1320
(有) 中野設備工業所	盛岡市湯沢	605-7660
(有) カネシゲ工業	盛岡市本宮	635-8585
(株) 滝沢工業	盛岡市上太田	659-1122
(株) 山崎組	盛岡市加賀野	652-3088
(株) 岩水	盛岡市大通	623-5426
(有) アサカ住設	紫波町日詰	676-4499
(有) 三星住設	盛岡市津志田	639-6670
(有) 田中水道工業所	盛岡市三ツ割	661-8511
タカヨ建設(株)	矢巾町下矢次	697-2245
(有) 浅沼地下水	盛岡市向中野	636-4812
(有) 岡田設備	石鳥谷町新堀	0198-45-2886
馬淵川設備(株)	二戸市福岡	659-2188
(有) 新光設備	盛岡市小鳥沢	661-0141
カワハラ興業(株)	矢巾町高田	697-3050
(有) 北山水道工業所	盛岡市三ツ割	661-1511
(株) 田中組	盛岡市住吉町	624-4509
丸片機水工業(株)	北上市常盤台	0197-63-7774
水本建設(株)	矢巾町南矢幅	697-3141
(有) 昆組	矢巾町高田	697-6058
くみあい鉄建工業(株)	矢巾町下矢次	697-2845
(有) 丸水工業矢巾	矢巾町南矢幅	697-5152

### 紫波町指定給水装置工事事業者

(届出順 事業者名/住所/電話番号順 平成13年11月現在 86事業者)

(株) 高設	盛岡市上厨川	672-1231
(株) 中央設備	盛岡市本町通	651-8611
(有) 小田島鉄工所	紫波町上平沢	673-7655
(有) 新世水機工業	盛岡市上田	661-5200
菱和設備(株)	盛岡市東安庭	654-2602
(株) 岩手管工	盛岡市上堂	646-9511
(株) 遠山産業	紫波町遠山	676-4111
橋建設(株)	紫波町桜町	672-4411
(有) 加藤水道工業所	紫波町高水寺	672-3226
小田中水道工事店	紫波町上平沢	673-7910
(株) 総合設備産業	盛岡市月が丘	641-1351
(有) 藤水道設備	紫波町桜町	676-3000
(株) 千田組	盛岡市天神町	624-1661
(資) 富岡鉄工所	紫波町桜町	672-2303
富士水工業(株)	盛岡市みたけ	641-2241
佐々木建設(株)	紫波町日詰	676-3610
(有) 三和下水道工業所	盛岡市本町通	624-6266
山王水道工事(有)	盛岡市みたけ	643-6102
花住ホーム(株)	花巻市材木町	0198-22-2477
中央水道土木(株)	盛岡市大館町	645-3530

# 冬季 紫波町スポーツ教室プログラム

総合体育館が主催する冬季の紫波町スポーツ教室への参加希望者を募集します。

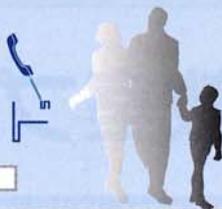
問合せ 総合体育館 ☎676-2650  
有線01-3151

申込は12月17日(月)から総合体育館窓口で受付開始

- 教室は初心者・初級者を対象として基本を中心に指導します。
- 定員になりしだい締め切ります。早めにお申し込みください。
- 参加料にはスポーツ安全保険料が含まれています。

教室名	内容	期間
テニス教室 スキルアップ コース	サンビレッジ紫波での室内テニス教室。(全8回) 対象:中級程度の実力の人/定員:20人/会場:サンビレッジ紫波 参加料:3,000円	1月20日~3月10日の毎週日曜/午前10:00~正午
水中運動教室 男子コース	体力増強に最適な関節に負担のかからない水中運動。(全7回) 対象:男性/定員:30人/会場:ラ・フランス温泉館温水プール 参加料:2,000円	1月17日~2月28日の毎週木曜/午前10:00~11:30
スケート教室	貸し切りの会場でのスケート教室。 対象:小学生以上/定員:40人/会場:石鳥谷町アイスアリーナ(バス送迎有り)/参加料:一般2,000円、小中学生1,500円(入場料、保険料、貸靴料を含む)	1月8日(火)、9日(水)、10日(木)/午前8:30(総合体育館集合)~11:30
スキー教室	スキーの基本から応用まで。(4日間) 対象:小学4年以上/定員:40人/会場:網張スキー場(バス送迎有り) 参加料:一般3,000円、小中学生2,000円(リフト代別途)	1月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)/午前8:00(総合体育館集合)~午後4:30
スノーボード 教室	スノーボードの基本から応用まで。(4日間) 対象:高校生以上/定員:20人/会場:網張スキー場(バス送迎有り) 参加料:3,000円(リフト代別途)	1月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)/午前8:00(総合体育館集合)~午後4:30
レディース スキー教室	比較的すいている平日のスキー教室。(全8回) 対象:女性/定員:30人/会場:網張スキー場(バス送迎有り) 参加料:6,000円(リフト代別途)	1月15日~3月5日の毎週火曜/午前9:00(総合体育館集合)~午後4:30

(有)東洋設備企画	盛岡市中太田	658-0733	エムテック(株)	滝沢村滝沢	688-0050
東北アクア工業(株)	盛岡市西青山	647-2775	(株)水清建設	矢巾町西徳田	697-2318
高北設備工業	石鳥谷町新堀	0198-45-6034	(有)幸和住設	盛岡市山岸	623-6356
(株)東北ターボ工業	盛岡市下太田	658-1113	(有)浜名設備	盛岡市上堂	641-0251
(有)杜陵工業	盛岡市本宮	634-1011	盛和工業(株)	盛岡市猪去	658-1505
(有)小田嶋設備工業	石鳥谷町上口	0198-45-5583	(株)盛福水道工業	盛岡市中堤町	647-3286
小田島 豊二	盛岡市東見前	638-5834	石鳥谷工業(有)	石鳥谷町好地	0198-45-2448
(有)ヤマモト	石鳥谷町好地	0198-45-4563	(有)大同水道土木工業所	盛岡市永井	639-0441
(株)理水興業	花巻市星が丘	0198-23-5395	旭管工(株)	盛岡市南仙北	636-0711
(有)日本住設	花巻市松園町	0198-22-3036	(有)盛岡熱動	盛岡市上太田	658-1424
(株)大久保建設	東和町安俵	0198-42-4000	盛岡ガス工業(株)	盛岡市東見前	638-6144
北東北設備(有)	盛岡市西青山	645-3855	(株)小松組	紫波町日詰	676-3163
(有)アルク	滝沢村滝沢	688-6613	中亀建設(株)	盛岡市仙北	636-0223
(有)ミタカ住設	石鳥谷町八幡	0198-45-5896	森下産業(株)	石鳥谷町八幡	0198-45-4422
(株)佐賀建設	石鳥谷町南寺林	0198-26-3800	(株)山與	盛岡市城西町	653-1221
泉金物産(株)	盛岡市内丸	638-3704	光和工業(株)	花巻市東町	0198-24-5151
(有)外山工務店	盛岡市緑が丘	662-1633	(有)吉田設備工業	盛岡市東山	652-4535
大進建設(株)	矢巾町間野々	697-2550	(有)サン住設	盛岡市黒川	696-2414
(株)北光	盛岡市みたけ	641-3368	(有)岩中システムサービス	北上市相去町	0197-67-6263
(株)吉田工業所	花巻市小瀬川	0198-27-5777	積和建設盛岡(株)	盛岡市津志田	638-1222
(株)日進工業	盛岡市三ツ割	661-4959	(有)こずかた水道設備	盛岡市青山	641-9211
小野寺水道設計	花巻市石神町	0198-41-2315	(有)姫神設備工業	盛岡市東緑が丘	661-8356



マスタープランとは市町村の都市計画に関する基本的な方針のことです。将来の具体的な土地利用に関する規制や個別の事業を立案する上での指針となるもので、町が行う都市計画の決定や事業実施はこれに基づいて行われます。

このマスタープランについて、町では平成9年3月策定の紫波町都市計画マスタープランの一部見直しを実施しました。主な骨子は次のとおりです。

## 見直しました 都市計画 マスタープラン

### 安全で安心なまちづくり

- ・浸水危険地域における市街化の抑制
- ・土砂災害危険地域への防災対策 ほか

### にぎわいのあるまちづくり

- ・温泉保養施設、農業体験施設など交流施設連絡路の整備
- ・大規模公園誘致
- ・駅前周辺の整備
- ・主要幹線沿道の土地利用の推進 ほか

### 少子・高齢化に対応したまちづくり

- ・住宅や歩道等のバリアフリー化
- ・生活支援施設や福祉施設の充実
- ・ユニバーサルデザインによるまちづくり ほか

町ではより多くの皆さんが閲覧できるよう、庁舎・分庁舎、各地区公民館、中央公民館図書室に備え付けています。どなたでも自由に閲覧ができますのでぜひご覧ください。

### 個性豊かな循環型のまちづくり 環境配慮のまちづくり

- ・資源循環推進施設によるゴミの有効利用、有機資源の循環推進
- ・公共交通機関の利用促進による自動車排出ガスの削減
- ・下水道の整備による河川水質の向上
- ・緑地の保全、緑化の推進 ほか

### 持続的に繁栄するまちづくり

- ・市街地を拡大しないコンパクトなまちづくり
- ・都市内交通網、東西軸交通網の整備
- ・商店街の活性化
- ・公益行政業務地の整備
- ・土地区画整理事業による優良宅地への誘導
- ・安定供給を目指した水道施設の整備 ほか

なお、マスタープランについて、ご不明な点やご意見などがありましたらご連絡ください。

【担当】都市計画課計画係 ☎672-2111 内線524 有線01-8831

### 社会福祉協議会から お知らせ

社会福祉協議会ではサービスの充実と施設利用の拡大のため、土曜の午前中も業務を行うことになりました。詳しいことはお問い合わせください。  
【問合せ】社会福祉協議会 ☎672-3258 有線01-2105

### ホームページで例規集を

町の決まりである条例や規則、要綱などが掲載されている例規集が、12月からホームページで自由に見ることができるようになりました。ぜひご利用ください。  
【担当】総務課総務係 ☎672-2111 内線313 有線01-8932

ホームページアドレス  
<http://@town.shiwa.iwate.jp>

### 介護保険シンポジウム開催

町では介護保険サービスを受ける側と提供する側の双方から生の声を聴く場として「介護保険シンポジウム」を開催します。岩手県立大学社会福祉学部講師の田中尚さんを講師としてお迎えするほか、参加者討議も予定していますので、ぜひこの機会に参加し、介護保険への質問やご意見をお聴かせください。

【日時】平成14年1月12日（土）、午後1:30～3:00

【会場】高齢者生活福祉センター「こもれび」

【問合せ】長寿健康課介護保険係 ☎672-4522 有線01-8974

# 男女で協力しあい 住民の力を 地域づくり

シリーズ2  
男女共同  
参画社会  
を目指して

町では、男女共同参画社会の実現に向けて、これを推進する基本計画の策定に取り組むことを、前号でお知らせしました。本号では、男女共同参画社会の基本的な考え方を取り上げます。

## 男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志で社会の全分野での活動に参画する機会が確保され、政治、経済、社会、文化などあらゆる面で共に利益を享受し、責任を担っていく社会をいいます。

## 男女共同参画社会の理念と目標

男女平等は憲法や各種制度でうたわれていますが、現実には実現されていないのが現状です。そのため、男女共同参画社会の実現に向けて必要とされる女性問題の解決と、表裏の関係にある男性の諸問題も視野に入れ、次の五つに取り組みなければならぬと提言されています。

- 1 人権の確立
- 2 政策・方針決定過程への参画による民主主義の成熟
- 3 社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー）に敏感な視点の定着と深化
- 4 新たな価値の創造
- 5 地球社会への貢献

次号では、この五つの目標についてを取り上げます。

今後、男女共同参画社会の実現に向けて、このコーナーでさまざまな情報をお届けします。ご意見をお寄せください。

【担当】 社会教育課 ☎672-33362 有線01-8941

## 紫波火葬場のご利用について

紫波火葬場では火葬炉保守点検と施設内清掃のため平成13年12月18日（火）は火葬場の使用ができません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。また年末年始の火葬場の使用は次のとおりです。

平成13年12月29日（土）～31日（月）  
町内の人のみ受付

平成14年1月1日（火）～1月3日（木）  
休業

平成14年1月4日（金）からは通常どおりの受け付けになります。

【問合せ】 生活環境課 ☎672-2111 内線155・156 有線01-8921

## 製造事業所の皆さんへ 統計調査にご協力ください

12月から来年1月にかけて、12月31日現在での統計調査が行われます。記入内容は、秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

【調査内容】 平成13年工業統計調査…製造事業所の実態を調査  
平成13年石油等消費構造調査…従業者30人以上の製造事業所の石油などの消費実態を調査

【問合せ】 企画課 ☎672-2111 内線324 有線01-8891

## 飲酒運転検挙者を一部公表します

近年、飲酒運転の検挙者が増加しています。町では飲酒運転防止のための啓発、家庭や地域での意識の高揚を目的に、飲酒運転検挙者の住所の一部と性別を、平成14年1月から広報「紫波ネット」に掲載することになりました。ぜひ趣旨をご理解のうえ、防止について皆さまのご協力をお願いします。

【担当】 生活環境課消防安全係 ☎672-2111 内線153・154 有線01-8901

繫 温 泉	愛 真 館	☎689-2111
鸺 宿 温 泉	ホ テ ル 加 賀 助	☎695-2216
	長 栄 館	☎695-2121
花 巻 温 泉	ホ テ ル 紅 葉 館	☎0198-27-2111
志 戸 平 温 泉	ホ テ ル 志 戸 平	☎0198-25-2011
新 鉛 温 泉	愛 隣 館	☎0198-25-2619
	松 川 荘	☎0195-78-2255
松 川 温 泉	峡 雲 荘	☎0195-78-2256
	八幡平ライジングサンホテル	☎0195-78-2170
八 幡 平 温 泉 郷	八幡平ロイヤルホテル	☎0195-78-3311
新 安 比 温 泉	新 安 比 温 泉	☎0195-72-2110
安 比 高 原 温 泉 郷	A P P I 温 泉 パ テ ィ オ	☎0195-73-6060
湯 本 温 泉	ホ テ ル 対 滝 閣	☎0197-84-2221
沢 内 銀 河 高 原 温 泉	沢 内 銀 河 高 原 ホ テ ル	☎0197-85-5311



## お得な「ふたりde入浴券」

県の冬季事業の湯雪王国では、左表の温泉にお得に入浴できる券を発売中です。

■料金 800円（2人まで入浴可）

■期間 平成14年3月31日（日）まで

※施設によっては3人まで入浴可能な施設や入浴ができない期間や問合せが必要な場合もあります。詳しくは入浴券の裏の表示をご確認ください。

【販売・問合せ】 紫波町観光協会（企画課観光係内）  
☎672-2111 内線325 有線01-8891



正月を迎える心も  
教えてくれる  
ミニ門松づくり



## シリーズ「働く人に会う」 帰去来 (かえりなんいざ)

新年を祝い、家の門口に飾られる「門松」。その年の神をお招きする目印であり、神が宿る場所を表すという。その門松のミニ版を十年以上にわたって子どもたちに指導しているグループがある。生活改善グループから始まった越田、岡田地域の女性の皆さんだ。昭和六十三年、当時の普及所の所長が指導してくれたというミニ門松は、ミルク缶の周りに、こもを巻くところから作業が始まる。なわでしばり、缶の中に砂を入れて竹や松をさしてゆく。形を整えながら、一番難しいという前面の花結びまで、よどみなく進む作業に見られるばかりだ。「小学四年生に指導するんですが、個性的で楽しいですよ」と笑みを浮かべながら語るメンバーたち。指導以外に、独居老人などに配る分など、年末までに百個余りを作るミニ門松の、陰の功労者は志和公民館だ。竹、砂など必要な材料の手配を一手に引き受けている。「今日は門松づくり日和だねえ」という言葉に外を見ると雪。振り返るとミルク缶からスタートしたとは思えない見事な門松が完成しつつあった。そこには紛れもない「かつての家族」の姿が見えたような気がした。おせちも、もちもすべて手作りだった時代…。いまさら昔には戻れないかもしれないが、「忘れてはいけないもの」を教えられた瞬間だった。

### 一年をふりかえって

#### 町長メッセージ

早いもので、今年も師走を迎えました。とかく暗いニュースの多い年でしたが、ここきて、内親王殿下、敬宮愛子さまご誕生という、新しい年を迎えるにふさわしい明るい話題に、日本中が沸き立ちました。さて、当町の一年を振り返ってみると、天候にも恵まれ穏やかな一年だったと思います。ここで町の十大ニュースをあげてみました。

一 「ひと、こころ、いのちの和で育む、ゆたかな未来」を基本理念とする「紫波町総合計画」を策定

二 循環型まちづくり条例の制定

三 環境・循環基本計画の策定

四 重要施策の推進のため、庁内に四つのプロジェクトチームを編成

五 紫波みらい研究所の設立

六 紫波中央駅待合施設の完成

七 BSE(牛海綿状脳症)の発症により、畜産農家などが重大な被害を受ける

八 戸籍事務の電算化により窓口事務が迅速化、サービスの向上に

九 日詰商店街にふれあいの場、なんぱザ・ホールがオープン

十 紫波町安全で安心なまちづくり条例の制定(四月施行)

忙しく過ごした一年でしたが、紫波町総合計画の策定や循環型まちづくり条例の制定など、「環境と福祉の町」を目指す町にとって、重要な足がかりとなる一年であったと感じています。皆さま良いお年をお迎えください。

(藤原 孝)

**編集後記** 今年も「忙しい」を連発し走り続けた一年でした。ところで先日ピピットライフの取材をし、びっくり。いつあんなに作るの? 「忙しい」は理由にならないと反省した次第であります。人間なにごととも始めることが大切なのですね。(佐藤)

#### 【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで

【ホームページアドレス】

<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

【メールアドレス】

[info@town.shiwa.iwate.jp](mailto:info@town.shiwa.iwate.jp)

【紫波ネット12月号】〈平成13年12月10日発行〉

発行◆紫波町

〒028-3390

岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1

☎672-2111

印刷/川嶋印刷株式会社